

高校生と自衛隊が合同トレーニング 部活動応援企画「ジョイトレ」



護衛艦『もがみ』の見学



自衛隊制度の説明



練習試合



隊員からアドバイスを受ける生徒達

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 栗野晃光3等陸佐）は、7月13日（日）、海上自衛隊横須賀基地において、県立高校のハンドボール部を対象に「ジョイトレトレーニング（ジョイトレ）」を実施しました。

この企画は、学校の部活動と自衛隊が合同で練習を行うことで、競技を通じて自衛隊への理解や職業観を深めてもらうことを目的としています。令和3年から継続しており、ハンドボールでの開催は今回で4回目になります。

当日は相模原市4校と厚木市1校から計73名の生徒と教諭が参加し、全自衛隊ハンドボール大会3連覇中の横須賀基地チーム「送球会」との合同練習を行いました。午前中は護衛艦「もがみ」の見学や自衛隊の任務や職種についての説明会を実施。午後からは練習試合を中心とした合同練習が行われ、生徒たちは高い技術に刺激を受け積極的にアドバイスを求めています。

締めくくりでは、今年入隊した隊員が「自衛隊はやりがいがあり、挑戦し続けられる場です。皆さんも夢に向かって頑張ってください」とエールを送りました。

生徒からは「隊員が親しみやすく、進路の選択肢として自衛隊も考えたい」との声が上がり、教諭からも「生徒たちが楽しそうである意義な時間でした」と好評を得ました。

相模原地域事務所は、「今後も、『ジョイトレ』などを通じて学校との交流を深め、進路選択肢の一つとして自衛隊を意識してもらえよう、積極的に広報活動に取り組みます」としています。



集合写真